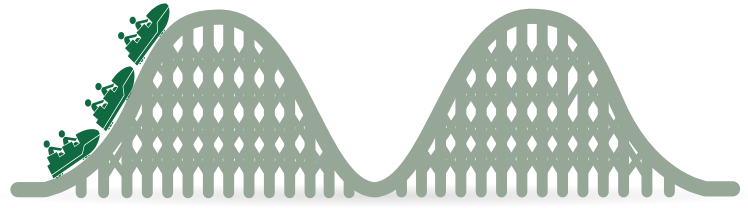


景気拡大サイクル終盤に おいても存在する投資機会

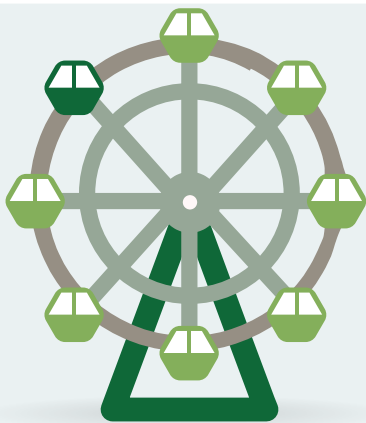


最初に反発が予想されるのは中国

短期的には株式市場はレンジ内推移が見込まれますが、新興国市場で反発が見られるとすれば、最近、景気対策を実施した中国が有力と考えられます。

金利上昇は グローバルの銀行株にとって支援材料

7月、先進国の債券利回りは全般的に上昇しました。
世界的な金利上昇はグローバルの銀行株にとって追い風と言えるでしょう。



景気拡大サイクルの終盤において、 株式は投資機会を提供

今後、景気拡大サイクルの終盤に見られる逆イールドカーブ状態になったとしても、株式市場には、依然として投資機会があると考えられることが、S&P500種指数の過去の事例から推測できます。

“私たちは、今回のトルコショックについては、新興国経済全体の問題とはとらえていません。トルコ経済は、欧州を含めたグローバル経済にとって、大きな影響を与えるほどの規模にはないと考えます。つまり、今回のトルコショックは、投資家心理の悪化によるものです。割安になった株価のバリュエーションは、ボトムアップアプローチの長期投資家に対して、魅力的な投資機会を提供していると考えられます。”

ジェフ・ルイス、シニア・ストラテジスト、マニユライフ・アセット・マネジメント

[当資料に関する留意事項]

- 当資料は、マニライフ・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます)が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、特定の投資商品の推奨を目的としたものではありません。
- 当資料記載のデータや見通し等は、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、正確性、適時性を保証するものではありません。
- 当資料の内容およびコメントは資料作成時点における経済・市場環境等について当社の見解を記載したもので当該見解は予告なく変更される場合があります、将来の経済・市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 各指数に関する著作権等の知的財産、その他一切の権利は、各々の開発元または公表元に帰属します。
- 投資信託のお申込みの際は、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)で商品内容をご確認の上、ご自身で投資のご判断をお願いいたします。
- 当資料に関する一切の権利は、引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製はできません。

マニライフ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第433号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会